

平成29年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果(松本地域)

1 地域協働の推進に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
まつもと市民大学プロジェクト事業	コワーキングスペース Knower(s)(松本市)	地域の発展に取り組む人材を育成し、活動できる場を提供するための講座を開催することにより、地域課題を解決できる人材を育成し、蓄積した知識、人材を地域に展開していく。29年度は塩尻市や安曇野市、銀座NAGANOでも講座を開催し、市民以外にも地域課題を学べる機会を提供する。 ①講師謝金、広報費	1,256,334	942,000	地域で活動している人材と、県外の講師を織り交ぜ情報発信や事業の繋がりを作る活動を進めている。何を生み出すために本事業を行うのか、目標設定を初期段階で行ってはどうか。幅広い世代に関心を持ってもらえるよう活動していただきたい。
少数でも続けよう「おてんま」事業	生坂村	各地区で行われている協働作業である「おてんま」のうち、側溝道路の泥上げ等の力作業をミニショベルを活用して行うことにより、今後の継続的な協働作業を目指す。 ②ミニショベル購入	1,878,200	1,252,000	購入したショベルカーを活用して少人数でも協働作業を行うことができた。今後も多くの地区で活用していただきたい。
みんなのまつもと・市民会議「松本のひと・まち・くらしをデザインする」	まつもと市民会議実行委員会(松本市)	松本市が目指す「健康寿命延伸都市」の創造に向け、市民とともに成熟社会「ひと・まち・くらし」をデザインする市民会議を開催し、ヘルスケアシティの概念を基本に「歩いて行けるまちづくり」を考え、提案する。 ①講師謝礼、広報費等	5,336,865	1,096,000	多数の参加者があり、新しい都市像や街の魅力づくりなど提案ができ、一定の効果が得られたが、事業内容については改善の余地があるため、内容を精査し、今後の活動に期待したい。
「ツリーハウス企画カフェ」による子どもの居場所活動と地域づくり	風土考房トナカイ(山形村)	ファシリテーター養成講座等の開催により、子どもの居場所づくりに携わる人材を養成するとともに、子どもの居場所の拠点である「ツリーハウス」の修復を行う。 ①講座、ワークショップ開催費用 ②ツリーハウス修復	610,794	478,000	「子どもの権利に関する条例」がまだまだ周知されていない中で、子どもの居場所づくりや拠点づくりを通して、講座の参加者へより分かりやすい形で理解された。

2 保健、医療、福祉の充実に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本市身体活動維持向上事業	松本市	地域住民が中心となり実施する体力づくり活動や、それらを企画・実施する「体力づくりサポーター」の育成を通じて、市民の健康意識の向上や、早い時期からロコモティブシンドローム予防につなげていく。29年度は、実施地区を市内全域に広め実施する。 ①体力づくりサポーター育成講座講師謝金、消耗品	31,773,600	544,000	多くの体力づくりサポーターが育成され、全市的に展開されはじめている。元気な高齢者が運動習慣のない高齢者を支えるシステムが出来つつある、更にサポーターや参加者が増えるよう継続的に活動に取り組んでいただきたい。
にぎやか家庭応援事業	塩尻市	「子育てしたくなる街日本一」実現に向けて子育て支援施策の充実を図るため、昨年度に引き続き育児講演会を開催するとともに、子育てに関する巡回講演を各地区の公民館で実施し、保護者の子育てに対する意識の向上や地域住民が子育てを考える機会の創出を図る。 ①育児講演会、巡回講演の開催	1,031,525	825,000	各種講演会等の参加者が増加傾向にあり、子育て世代への支援の取組として定着しつつある。多様なニーズに対応するため、様々な専門家による講演等を聞く機会を作るなど、より多角的な支援の取組とすることが必要と思われる。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
歩いてつながる地域の輪事業	生坂村	村民のウォーキング習慣・運動習慣の定着を促すため、松本大学の協力を得てウォーキング教室を開催するとともに、筋力向上プログラムのDVDを制作しケーブルテレビや教室で放映することで、村民の意識の啓発を図る。29年度は新たに「部活」と称して定期的なウォーキングサークルを開催し、インセンティブを付与する仕組みを作る。 ①教室開催委託費、チラシ印刷費	1,541,492	1,232,000	ポイント制度などを導入し、健康づくりの推進を図っているが、ポイントや特典が有効に使用できるよう留意して継続していただきたい。
信州ACEプロジェクト 健康寿命延伸で活力あふれる村づくり事業	山形村	保健センター敷地内にウォーキングコースの整備と健康遊具を設置して、生活習慣予防や介護予防の教室等での活用していくことにより、運動するきっかけづくりや地域コミュニティの構築により村民の健康づくりの推進と活力あふれる村づくりを目指す。 ①講師謝金 ②健康遊具設置、看板設置	2,680,580	1,789,000	村内になかった健康遊具を設置することで、村民が自主的に運動する場所の確保ができた。また、ウォーキングコースの紹介や健康遊具の使い方の指導を通して、運動の定着化及び健康寿命延伸の啓発活動ができた。
村民総参加 みんなで応援子育てのむら	筑北村	子育てサークルや保育園、学校等と連携して、子育て世代の育児不安を解消し、親子の愛着形成と子どもの健やかな成長を支援するため、子育て世代包括センターを中心とした支援ネットワークを形成し、成長過程や環境等に対応したペアレントトレーニングや発達障害を理解する講座を開催する。 ①講師謝金、冊子作成費	586,259	468,000	ペアレント・トレーニング等を計画通り開催し、多くの参加者を得て、発達障害に関する村民の理解を深めた。また、講座参加者の子育てに関する自信度をアップさせるなど、当初の目標を達成できた。今後も支援ネットワークの充実に向けて取組を継続していただきたい。
みえない・みえにくい人たち またその家族・友人等向けipad勉強会	障害者パソコン研究会(松本市)	視覚障がい者を対象にiPad等のタブレット端末の操作に関する勉強会を開催し、操作・活用方法を学ぶことで、視覚障がい者の方が日常生活でタブレット端末を利用することが可能となり、生活の質の向上等に寄与する。29年度は家族や支援者向けに端末の設定方法をマニュアルとして作成する。 ①講習会、講演会の開催	610,321	429,000	昨年度と同様に参加者が目標に達していないが、参加者から高評価を得られているため、今後はもっと広く周知していただき、活動拠点や範囲を広げていただきたい。
子育て応援 世代間コミュニケーション促進事業	根っこのこどもたち(松本市)	育児に不安や悩みを抱えている保護者を対象に、気軽に参加、発言ができる「トークライブ」や「話しかけ講座」、演劇の手法を用いコミュニケーション能力を高める「ドラマケーション講座」を開催することで、自己肯定感の向上や孤立感の軽減を図り、自信を持って育児に取り組めるサポートをする。 ①講師謝金、チラシ印刷	1,023,209	818,000	不登校などの子どもを抱える保護者を対象に保護者の心身の健康を取り戻す場として、参加者には一定の効果が見られた。今後は、賛同者の輪を広げるとともに、参加しない、できない親子へのアプローチを検討するとともに、財源を含めた事業の継続性を確保が必要である。
松本地域出産・子育て情報発信事業	松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会(松本市)	松本地域の妊婦健診・出産の分担システムを周知するためのチラシを作成し市村窓口や薬局等で配布するとともに、相談会形式による公開講座の開催やラジオ版公開講座の開催を行い、地域で子どもを育てることに安心感を醸成し、出産・子育て環境の一層の向上を図る。 ①公開講座の開催、チラシ印刷費	2,724,992	2,179,000	薬局等の協力を得て広報用カードを配布し、松本地域の健診・出産の分担システムを直接妊婦等に情報発信することができた。また、公開講座等により、多くの住民に産科医療の現状と取組を周知できた。今後は自己財源を確保した上で、継続的な取組としていただきたい。
更生保護支援活動～就業先支援拡大事業～	松本地区更生保護協力雇用主会 そえ木の会(松本市)	刑務所出所者等の就業による社会復帰を支援するため、企業に対して更生保護活動の紹介や雇用主となる企業の発掘を行うとともに、保護観察対象者の就業支援のための動画を作成しネット配信を行う。 ①チラシ作成費、動画制作費	502,520	376,000	平成28年度の求人数2件に対して平成29年度の求人実績25件は、この取組の大きな成果と言える。また、賛同した企業も19社増の74社となり、今後の取組の広がりにも期待できる。
里山を活用した子育て・子育て支援事業	特定非営利活動法人わおん(塩尻市)	身近な森林を活用し、森の中で子どもたちが自然とふれあい、保護者は非日常の癒しの場としてゆったりとした時間を過ごす「森カフェ」の取組を普及するため、参加しやすい場所でのセミナーや森でのイベントを開催し、地域の資源である森を活用した子育て・子育て支援モデルとして発信していく。 ①里山子育て・子育てセミナーの開催、周辺備品の購入	812,983	547,000	セミナーやイベントの開催により、森を身近に感じ、森に足を運ぶ親子が増えてきている。事業を継続する中で、「森カフェ」に関心を持つ住民も増え、他地域へも活動が広まりつつある。今後もイベント等への参加者をより増やすため、効果的なPRを行っていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
体験活動を通して児童館の友達と交流を深める事業	特定非営利活動法人チルドレンズ・ミュージアム(安曇野市)	安曇野市をはじめとした松本地域の児童館において普段の活動で実施できないような科学展示の体験活動や工作づくりのイベントを長期休みや平日に開催し、児童館へ通う子どもたちの交流の円滑化や新たな交友関係の構築を図る。 ①展示品材料費、講師謝金	1,547,220	1,206,000	参加した多くの子どもたちからは、好評を得ている。今後、こうした活動を継続させていくためには、自主財源の確保や開催方法の検討などが望まれる。
高齢者向け地域支え合い事業	シルバーカフェ安曇野(安曇野市)	安曇野市三郷において企業や地域在住の高齢者ボランティアとともに運営する「シルバーカフェ安曇野」を開設し、体力測定や健康教室、認知症予防講座等の各種講座を定期的で開催することにより、高齢者の心と体の健康増進と社会参加を促す。 ①チラシ印刷費、講師謝金	1,275,907	1,020,000	高齢者の生活充実講座や認知症予防講座など種々のイベントを実施しながら心と体の健康増進を図っている。高齢化の進展により認知症予防等の重要性が高まるため、こうした取組を継続させて高齢者の交流の輪が一層広がるよう努めていただきたい。
インクルーシブ社会実現のための映画「風は生きよという」の上映シンポジウムの開催	風をみる会(松本市)	人工呼吸器を使用しながら地域で普通の生活をしようという人々を描いた映画「風は生きよという」の上映と重度障がい児の母親をパネリストに迎えてシンポジウムを行い、患者会、家族会の活動を広く知ってもらい、活動への理解と応援の機運を高める。 ①映画上映料、チラシ等	634,918	440,000	地域で暮らす障がい者の生活や支援について実情を知ること、障がい者の家族も含めた地域の繋がりの広まりが感じられた。また、福祉関係の学生も次の担い手の育成に効果があると考えられる。次回の開催時には開催日の設定や広報体制の見直し等により来場者の増加を期待する。
まんまる◎広場 ～医療と住民を結ぶつながりの輪～	信州メディトネット(松本市)	市民が気軽に医療従事者と交流できるコミュニティサロンを開設し、医療従事者が住民への確かな健康情報をレクチャーしたり、様々な健康情報を市民へ発信することで、市民の健康や医療に対する関心を高め、地域医療の増進に寄与する。 ①講師謝金、機材購入費等	751,803	595,000	各回異なったテーマの健康講座を5回開催し、様々な健康情報を発信した。参加者の理解度及び満足度がともに高く、信州ACEプロジェクトの周知や住民の健康に対する意識の向上に繋がった。今後もより多くの住民に確かな情報が伝わるよう、取組の範囲を広げていただきたい。
まちを「歩こうBIZ」プロジェクト	松本地域健康産業推進協議会(松本市)	若い働く世代のウォーキングを促すため、スマートフォン用ウォーキングアプリを活用し、企業・団体間で歩数を競う取組を行うとともに、小売店舗の協力を得てポスターを掲示し、若い世代の健康づくりの意識啓発を行う。 ①アプリ利用料、ポスター制作	1,528,000	1,222,000	目標を上回る数の企業が参加し、従業員に対して楽しみながら歩くことの動機付けを幅広く提供することができた。今後も企業における健康経営の取組ともリンクさせながら、より実践的な事業展開に期待したい。
松本発の住民参加型の医工連携ものづくりモデルの構築	信州メディカル産業振興会(松本市)	患者及び看護、介護する家族がユーザーの立場で参加できる医療機器を考えるセミナー、ワークショップの開催により、今まで、医師と企業で行ってきた医療機器等の開発にユーザーである住民が参加し、医師や地域企業とともに松本発の医療機器、介護用品等を開発する住民参加型の医工連携ものづくりモデルを目指す。 ①セミナー開催費、パンフレット制作費	951,205	760,000	住民が医療機器・介護用品等の開発に携わることの意義や必要性を示すため、パンフレット・動画の作成、セミナー・ワークショップの開催などを行い、行政や企業、医療・介護従事者からの一定の賛同を得ることができた。今後は具体的な機器開発に向け、住民参加をさらに促していただきたい。

3 教育、文化の振興に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
つ・な・ぐ 安曇野に伝わる物語を親から子へ”つないでいく”、世代を「つなぐ」	安曇野市	安曇野で語り継がれてきた地域固有の昔話を編纂した図書を作成し、読み聞かせを行う市民グループによる小学校での出前授業を実施することにより、子どもたちの郷土を愛する心を育み、昔話を承継していく。 ①図書制作委託費、報償費	1,177,500	878,000	郷土を慈しむ心を育ててもらえるよう小学生向けの図書「つなぐー安曇野の伝説」を制作し、出前授業などを行った。小中学校や図書館などと一層連携して、本図書が有効に活用され、多くの子どもたち、またその親や祖父母等多様な世代に読んでもらえるよう努めていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
住民パワーによるパワースポットのパワーアップ事業	筑北村	村の指定文化財である修那羅石仏群について、これらの文化財が地域にとって貴重な資源であることを再認識してもらうため、学習会や各種講座を開催し、案内板の設置や環境整備を住民参加により実施することで、文化財を地域の財産として活用し、観光資源の柱として村内外へ発信していく。 ①案内板作成、記録・PR用写真撮影委託	801,863	597,000	ボランティアガイドの育成については思いのほか人が集まらず、当初の計画どおりに進んでいない面もあるが、学習会への参加者は多く、観光資源として地元の期待の高まりを感じる。
ふれあい町づくり 大日堂	沢村町会(松本市)	地区の文化財と伝承文化を地域全体で守り伝え、子どもから高齢者まで活躍できる地域づくりを行うため、沢村地区の伝統文化財「大日堂」を活用しイベント・学習会を開催するとともに、28年度に復活させた「沢村おんど」を定着させ踊り手を増やすため引き続き納涼祭で発表を行う。 ①講演会謝礼、Tシャツ作成 ②発電機購入費	532,060	373,000	地区の伝承踊りである沢村音頭の復活や講演会など、子どもが地域の文化や歴史に触れる機会を提供することで、町会の活性化に寄与している。より多くの人々が町会活動に参加できるよう活動を継続していただきたい。
しろがねワクワク町づくり人づくり	特定非営利活動法人 しろがね(松本市)	地域の子どもは地域で育てるという気運の醸成等を目指し、合同の運動会・夏祭りを開催するとともに、学校行事や学習支援の取組やファミリーコンサート等も実施することで、地域の子どもと様々な大人が交流する機会を増やし町会を越えてみんなで子どもを育てる環境の整備につなげていく。 ①運動会消耗品、チラシ印刷費 ②備品購入費	2,024,673	1,587,000	近隣の地域を巻き込んだ運動会や夏祭りなどで子どもの参加が増えるなど子ども達と地域の結びつきを強めるきっかけづくりができ、子どもの心身の健やかな成長を促し、地域子育て拠点施設として一定の成果を上げることができた。
民話などの文化遺産を後世に伝える事業	岡田地区まちおこし協議会(松本市)	地域に伝わる民話や伝説等の文化遺産を次世代へ伝え、幼児・児童の郷土愛を育成するため、民話を伝える活動を行っている地域団体と協力し、民話フェスティバルや講演会を開催するとともに、松本城に伝わる民話について紙芝居を制作し、近隣の保育所や図書館等で上演や貸出を行う。 ①民話フェスティバル会場費、謝金、紙芝居制作費	871,600	600,000	民話フェスティバルだけでなく、花いっぱい松本大会やまつもと市民オペライベントなど、他にも公演の場を広げている。また、事業継続を見据えてスポンサーの確保に積極的に取り組んでいる点も評価できる。
城下町松本再生プロジェクト 松本市小学生作文コンクール事業	松本市小学生作文コンクール実行委員会(松本市)	松本市内の小学校高学年を対象に、地域住民とともに松本城を知り、学ぶ機会を提供するとともに、地元企業等と連携して松本城及び城下町を題材とした作文コンクールを実施することで、子どもたちの松本市(郷土)への愛着心を醸成し、将来に亘り松本市に住み続けたい、松本市に戻りたいと思う子どもの増加を目指す。 ①新聞への作品掲載料、教材作成費等	1,281,534	956,000	作文の応募点数は前年度より増加したが、壁新聞の応募がなく、応募点数全体では前年度の168点から99点と大きく減となった。募集方法について工夫が必要と思われる。
松本市四賀音楽村音楽活動の事業	松本市四賀音楽村(松本市)	四賀地区で地元出身の演奏者による音楽コンサートの開催や四賀混声合唱団への指導を通じ、交流人口の増加を図り、子ども達が本物の音楽に触れる機会を提供し、音楽を通じて地域の活性化を図る。 ①演奏者謝礼、会場費	811,600	608,000	地域の子どもが本物の音楽に触れる場及び地域の多世代の住民が交流する場として、定着している。地域外から多くの人々が訪れるような工夫を行い、コンサート開催等が継続することを期待する。
スポーツ吹き矢式呼吸法でシニア・視覚・聴覚・身体障がい者の皆さんに元気を	一般社団法人 日本スポーツ吹き矢協会松本アルプス支部(松本市)	スポーツ吹き矢を通じシニア世代や視覚障がい者、聴覚障がい者の方が楽しみながら健康維持ができるよう、公民館等で実施する体験会用の備品の整備や視覚障がい者向けの音の出る的の開発や、指導員が聴覚障がい者とコミュニケーションが取れるよう手話の勉強会を実施する。 ①体験会用具購入費、手話講師謝金	429,534	342,000	「音の出る的」を独自に作成し、視覚障がい者の方にもスポーツ吹き矢を体験してもらった。市民スポーツ吹き矢大会の開催等を通じてスポーツ吹き矢と深い腹式呼吸の大切さを広め、予定参加者を大幅に上回る参加を得ることができた。今後も取組を継続していただきたい。
安曇野アートラインサマースクール事業	安曇野アートライン推進協議会(安曇野市)	安曇野周辺にある美術館・博物館等において、夏季期間に「安曇野アートラインサマースクール」として親子が気軽に参加できる各種イベントを開催し、創作活動の楽しみを体験してもらうとともに、観光誘客の促進にも寄与する。29年度は中学生ボランティア受け入れの取組を加盟館で共有し次年度以降に役立てる。 ①ポスター・チラシ印刷経費、講師謝金	1,886,753	1,316,000	各美術館・博物館によるイベントの共同開催にとどまることなく、観光客をいかに広域的に各館へ誘導するのか、スケールメリットを最大限に活かせるよう連携しながら取り組んでいただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
旧安楽寺古池から岩原城に連なる遊歩道整備事業	岩原自然と文化を守り育てる会(安曇野市)	安曇野市の岩原地区において、旧安楽寺跡から岩原城史跡一帯を「ウォーキングトレイル」として整備を行うとともに、国営公園や他の地域づくり団体と連携し歴史や自然に関する学習会等を開催することで、地域の資産を守り育てる後継者の育成を図る。 ①講師謝金 ②遊歩道の整備等	670,088	456,000	岩原城に連なる遊歩道の整備等を実施したが、学習会など今後も継続して開催し、地元の歴史遺産の継承に努めるとともに、同地の観光資源化に向けて、遊歩道の安全確保に留意していただきたい。
古人の心を未来に繋ぐ	山形村史談会(山形村)	村の石造文化財を代表する道祖神について記録写真集を作成するとともに、名称表示看板を設置することにより、小学校の総合的学習や公民館講座、観光協会と連携した道祖神巡りの案内を行い、地域に誇りと愛着を持つ人材を育成するとともに観光資源として活用する。 ①写真集制作費、看板代	1,520,662	1,216,000	整備した写真集及び名称表示看板を活用したふるさと学習や総合講座の増加に加え観光客の誘客に繋がるよう広く周知していただきたい。
書籍名『岡田再発見』の出版・公開化事業	岡田地区まちづくり委員会(松本市)	松本市岡田地区において、平安時代の駅制の錦織駅が存在など、平安時代以前の歴史が明らかになったことから、出版物としてまとめ、講習会、歴史散歩等を通して、地区の歴史への理解を深めるとともに、地域の一体感の醸成を図る。 ①「岡田再発見」の出版等	1,028,518	473,000	書籍について販売分は完売し、また、歴史講座講演会では多くの住民の方が参加し、関心の高さがうかがえる。事業は計画どおり実施しており、当初予定していた成果を得ることができた。
「里山辺地区文化財等全調査集」編纂発刊・地域学習事業	里山辺地区まちづくり協議会(松本市)	松本市里山辺地区において、平成29年2月に林城が国史跡登録になったことにより、地域住民の文化財への関心も高まっていることから、「里山辺地区文化財等全調査集」を編纂発刊して、文化財・史跡等の学習講座を開催し、幅広い世代の地域住民が地区の歴史を学習するとともに、地区への愛着や郷土愛を深める。 ①印刷製本費等	1,054,470	454,000	若い世代へ地域の歴史・文化を伝承していくため、作成した調査集を活用した継続的な取組を期待したい。
史跡「北十王堂跡」整備事業	安原地区まちづくり協議会(松本市)	松本市安原地区にある「北十王堂跡」について、石像文化財の集約整備を行うとともに説明板を設置し、講演会の開催や旭町小学校のコミュニティスクールへの活用により、文化財の保護と地域住民の地域を愛する心を醸成する。 ①案内看板設置等 ②整備工事	1,337,874	423,000	今回の史跡の整備が地域住民の交流のきっかけとなり、地域での学習活動や環境整備活動、ウォーキング大会といった活動の活発化につながったことは、当初予定していた成果を得ることができたといえる。
赤ちゃん先生プロジェクト事業	認定特定非営利活動法人長野サマライズ・センター(塩尻市)	赤ちゃんと母親が先生となり学校等を訪れる「赤ちゃん先生プログラム」を松本市内の小中学校・高校で実施することで、母親と赤ちゃんの社会参画を図るとともに小中学生に命の尊さを学ぶ機会を提供する。 ①講師謝金、プログラム使用料等	1,436,400	1,053,000	小中高生が命の尊さを学ぶ機会を得ることができる、とても意義ある事業と言える。障がい児の母親の参加は叶わなかったが、子育てにより家にこもりがちになる母親の社会参画の機会としても期待できる。

4 安全・安心な地域づくりに関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
オープンデータを活用した地域課題解決型サービスの充実	塩尻市	H27年度に支援金を活用し開発した、オープンデータを活用した子育て支援サイトの内容の充実と活用を図るため、引き続き住民参加型のワークショップを開催するとともに、将来の地域におけるICT技術者を育成するため、小中高生を対象にオープンデータ分析集中教育を行うことで、地域住民が主体のオープンデータ活用モデルを構築する。 ①講座開催委託費	1,951,560	1,493,000	オープンデータを活用した、子育て支援サイトの内容の充実を図った。今後、オープンデータを子育てサイトのみならず様々な分野に転用して地域課題の解決に努めるとともに、小中高生を対象に一層ICT技術者の育成を図っていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本地区の動物愛護の推進活動	一般社団法人 ゆめまるHAPPY隊(松本市)	保健所で保護された犬を引き取るシェルターを設置し保護活動を行っているが、飼育場所の一部を改修し、小学生の研修や譲渡時の対面、譲渡後の適正な飼い方の指導の場所として活用することにより、学校や地域、家庭における動物愛護の啓蒙活動を行うとともに円滑な譲渡活動に結びつける。 ②施設改修工事	2,710,800	1,807,000	松本保健所の殺処分数が2年連続ゼロとなったことや適切な譲渡活動がされ、目標以上の効果が得られていると思われる。今後はシェルター内の保護数が減少していくよう広く周知していただき、小さな命の大切さを後世に伝えていただきたい。
朝日村デマンドタクシーくるりん号 利用促進事業	朝日村	デマンドタクシーくるりん号について、高齢者向けに利用方法をわかりやすく説明したPR動画とパンフレットを作成し、村自主放送での放映や出前講座に活用することでくるりん号の利用者を増加させ、高齢者の生活の足を確保・充実させる。 ①PR動画制作費、パンフレット印刷費	1,189,560	951,000	パンフレット作成が遅れ、出前講座の実施が年度末になってしまったが、今後も作成した動画等を活用して、利用促進PRを行っていただきたい。

5 環境保全、景観形成に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本キッズ・リユースひろば事業	松本市	リユースによるごみの減量化、循環型社会形成への意識向上を図るとともに、子育て家庭への支援を目的として、家庭で使用しなくなった育児、子ども用品を回収し、年6回開催する配布イベントで無料配布するとともに、子育て支援団体等と連携し、子育て関連の事業を併せて開催する。 ①実施業務委託費等	6,362,036	2,400,000	参加者世帯数・子供用品リユース数ともに、目標を大きく上回ったことから、多くの子育て世代から支持された事業と言える。
生物多様性保全事業	松本市	生物多様性の保全に対する関心を高めるため小中学生とその保護者を対象とした環境学習会を開催するとともに、奈川地区に生息するゴマシジミのモニタリング調査を市民調査員とともに実施するほか、地元住民と協働で希少種の保護回復と啓発活動を行う。 ①調査委託費、講師謝礼、看板設置	1,061,796	796,000	保護回復事業やモニタリング調査に一般市民が参加することで、地元の豊かな自然環境を再認識し、今後の関連事業への参加、環境学習会の講師等人材育成につながることを期待できる。
清水高原遊歩道の森林資源活用	山形村	雨水被害にあったスカイランドきよみずから清水寺を結ぶ遊歩道等を、住民参加のもとチップ化した倒木を活用して整備することにより、観光客の増加や森林資源の活用を図る。 ①パンフレット作成費 ②倒木処理委託費、粉砕機購入費	4,125,509	2,570,000	村民協働の活動により、遊歩道の整備や森林保全に対する意識の高揚は図られたが、備品等の必要性について、住民に説明が出来るような、詳細な企画立案や実行が必要と思料される。
平瀬城跡の整備、保存活動事業	平瀬城跡一口城主会(松本市)	島内地区にある松本市の特別史跡「平瀬城跡」について、地域住民等が中心となり地域の貴重な歴史文化遺産として周辺環境を含めた整備・保存活動を行い、新たな観光スポットとしての活用も視野に将来的には県、国の史跡としての指定を目指す。 ②周辺支障木の伐採、看板設置	644,112	429,000	住民の熱心な整備保存活動により、新聞等にも複数回取り上げられ、平瀬城の知名度向上に大きく寄与した。今後もより多くの人に訪れてもらえるよう、整備保存活動及び情報発信に取り組んでいただきたい。
大音寺山 みんなの山づくり実践事業	NPO法人浅間温泉木の絆会(松本市)	平成14年に山林火災で森林が焼失した浅間温泉の大音寺山において、地域住民及びボランティアが協働して、植樹や遊歩道整備を行い、山を「地域の宝」として守り育てるとともに、観光名所として温泉街活性化にも寄与する。29年度は遊歩道へのサイン設置と池のり面補強を行う。 ①チラシ作成 ②サイン設置、のり面補強工事、遊歩道の整備	1,019,576	575,000	地域住民による遊歩道の整備、植樹作業等により、焼失した山林の再生と公園整備を行うことで、地域住民の里山を大切に作る機運が芽生えた。今後、遊歩道を活用したトレッキングをPRし、浅間温泉の活性化につなげていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
ごみ減量！ 松本地域チャレンジ800実行事業	松本地域チャレンジ800実行チーム(松本市)	松本市が推進する食品ロスを削減するため家庭で行う「30・10運動」を松本地域へ広げるため、3市村の保育園・幼稚園を訪問し、啓発パンフレットの配布やクイズやダンスによる参加型環境教育を行い、食品ロスの削減や地域住民の意識向上を図る。 ①パンフレット作成費	946,080	709,000	事業に参加した村の保育園において、リサイクルダンスを環境教育に取入れたところ、今後、園で活用するためのDVDの提供依頼があり、環境教育が継続的に行われることが期待される。
ふるさと安曇野「案内人育成&情報発信」事業	特定非営利活動法人安曇野ふるさとづくり応援団(安曇野市)	27年度から国営あづみの公園で実施している「案内人養成講座」を更に充実させ、29年度は「田園集落」を案内事例とした「企画編」を開催するとともに、あづみの公園の案内人のインフォメーションコーナーを活用し、受講生のガイド体験の場や安曇野の魅力を発信する情報拠点として活用する。 ①資料作成費、印刷費	886,756	648,000	講座テキスト「安曇野の案内人をめざして～案内の企画から実践まで～」を有効活用し、案内人の育成を図るとともに、広域的に松本市等近隣の団体との連携を深めて、一層着地型の観光振興へとつなげていただきたい。
昆虫から学ぶ麻績の自然再発見事業「おみごと！昆虫プロジェクト」	麻績村の自然を愛する会(麻績村)	昆虫類の生息数が減少傾向にある麻績村において、昆虫の生息環境をまとめた昆虫図鑑を作成し、農業体験や自然観察ツアーを開催することにより、村に生息する昆虫の多様性を伝え、自然環境を保全する意識の醸成を図る。 ①昆虫図鑑印刷費、講師謝金	627,189	492,000	村民の環境意識の醸成が進み、遠方からの参加者もいた。今後は村内外への広報、周知を行い、より多くの人が参加、滞在できる企画をしていただきたい。また、天候に左右されない活動も設定していただきたい。
風景投稿サイト「ビューポイント信州の山」事業	安曇野百選プロジェクト(安曇野市)	27年度に開設した風景投稿サイト「ビューポイント信州の山」について、統合ポータルサイトを立ち上げ、スマートフォンの位置情報を取得する機能を追加することにより、利便性や機能性を高めるとともに、山小屋や公共施設、イベントでの展示企画を行い、山岳観光の振興や景観形成等に寄与する。 ①風景投稿サイト作成費、印刷費	992,844	712,000	PR活動は行ったが、写真投稿数は目標300件の半分にとどまり、投稿者も申請団体のメンバーによるものが大半を占めている。サイト開発当初の理念である、広く一般の方に活用されるよう努力していただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (1) 特色ある観光地づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
ビッグデータを活用した「松本地域の観光変革プロジェクト」	松本広域連合	H27年度に本事業において実施した、観光動態調査、観光意向調査の結果を踏まえ、松本地域における新たな観光資源の開発や、着地周遊型観光の促進を図るための情報発信やPRを実施するとともに、産官学で構成するワーキンググループによる検討を行い、松本地域が一体となった魅力あふれる広域観光地づくりを推進する。 ①ガイドブック制作費、プロモーション費	6,531,140	5,000,000	観光施策予算など規模の小さい郡部においても観光資源の掘り起しを行い、1冊の周遊ガイドブックにまとめたことや各市村が合同でPRキャラバンに参加したことは、観光地づくりの観点から効果が非常に大きい。
国際観光都市松本推進事業	NPO法人アルプス善意通訳協会(松本市)	松本城を中心とした外国人観光客に対する案内ボランティア活動の充実を図るため、仏語、スペイン語、中国語による案内講座を実施するとともに、一般市民も対象とした案内の質向上のための講座等を開催する。29年度は商店街での外国語対応を支援するほか、新たに浅間・美ヶ原温泉や白馬・大町地方の旅館等との連携を図り広域観光の推進を行う。 ①語学講座講師謝金、活動紹介カード印刷等	1,381,702	1,105,000	ガイドの多言語化、日本文化についての学習によりガイドの質の向上を図った。団体のPRを広範囲に行うなど、取組をより充実させるための環境整備ができ、当初の目標どおりの効果が得られた。今後も松本地域の魅力を伝えるため活動を継続していただきたい。
人と自然に優しい乗鞍高原トイレと花いっぱい事業	のりくら観光協会(松本市)	乗鞍高原内に携帯用トイレブースを設置し、その廃棄物を花壇や畑の肥料として活用するシステムを普及するとともに、自然にやさしいトイレモデルとして発信していくことで、山岳観光地づくりと乗鞍高原を訪れる観光客の増加を図る。29年度は備蓄期限切れの携帯トイレを活用したPR活動を行う。 ①携帯用トイレブースの設置、講習会の開催等	852,052	661,000	トイレボックスを増設し、位置を示すマップを作成・配布することで、乗鞍高原を訪れた観光客等の利用を促した。また、携帯トイレから作った肥料を花卉に利用することで、観光地としてのイメージアップがなされた。使用済み携帯トイレが適切に回収されるよう、一層取組んでいただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
多文化人財「日本人も外国人もみんなで魅力ある地域づくりを」事業	特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク(松本市)	松本市在住の外国人を講師に起用し、松本への来訪人数の多いアジア圏の文化や言葉を学ぶ講座を観光従事者や一般市民を対象に開催し、魅力ある観光の街づくりを行う。29年度は海外の人々に松本の魅力を発信できるボランティアを募集する。 ①講師謝金、会場費等	1,222,581	977,000	広報を積極的に行い、講座参加者数が前年度の2倍以上となった。また、松本の魅力や観光情報をSNSで発信する松本在住の外国人ボランティアを募集し、情報のテスト発信を行うなど、外国人住民を地域の資源として活用するモデル的事业である。
浅間温泉 癒しとやすらぎの温泉地づくり	浅間温泉旅館協同組合 婦人部(松本市)	浅間温泉を、疾病などの治療や療養などに訪れる人に優しい「癒しとやすらぎの温泉地」として県内外に発信するため、28年度までのモニターツアーにより開発した滞在型メニューをモデルコースとして雑誌媒体等を活用して宣伝し、新たな顧客層の開拓に取り組む。 ①モデルコース宣伝費	1,223,540	917,000	3年間の事業実施を通じて、宿泊者数が3割程度増加した。今後は、特に富裕層に向けた単価の高い滞在型メニューの提案や、国内旅行者だけでなく外国人観光客にも喜ばれるようなサービスを企画していただきたい。
ワゴン型EVを活用した新たな観光プログラムPR事業	一般社団法人松本市アルプス山岳郷(松本市)	乗鞍地区においてワゴン型EVを活用した体験型プログラムを構築し、体験型観光の商品としての販売や地域経済の活性化に寄与する。29年度はウェブサイトの制作、チラシやインターネットを活用した広報活動、モニターイベントの開催を行う。 ①ウェブサイト制作費、広告費	5,676,320	4,541,000	Webサイトセッション数やメディア露出数の実績は当初の予定を大幅に上回っているものの、今回の取組が肝心の観光プログラム参加者数につながっていないことは反省点としたい。
訪日外国人旅行者にとって魅力ある観光地づくり事業	魅力ある観光地づくり実行委員会(松本市)	外国人旅行者向けの瓦版(パンフレット)を作成し松本城で手渡しするとともに、大名町において松本藩に仕えた実在の忍者一族をモチーフにした忍者体験道場を開催することにより、外国人旅行者向けの着地型観光を促進し松本地域での滞在時間の増加を図る。 ①瓦版印刷費、ホームページ制作費	1,587,600	1,190,000	宿泊数増加に繋がっているかどうかの判断はできなかったものの、情報発信の観点からは期待通りの効果が得られている。今後は、単なる情報発信だけではなく、旅行会社へ売り込むなど事前に周知することで、宿泊数の増加に繋がっていただきたい。
やっぱり、すごいね木曾漆器!! 魅力再発見事業	塩尻市木曾平沢区自治協議会(塩尻市)	木曾漆器の生産地である塩尻市木曾平沢地区において、木曾漆器の魅力を地域の子どもたちや、観光客に伝えるための取組として、子ども向けワークショップの開催、旅行者向け工房見学を、関係団体等と連携して実施することで、木曾漆器の技術者の育成と、魅力向上を図る。 ①講師謝金、広告費	2,781,001	2,216,000	木曾漆器の体験型の催しや重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けている街並みの紹介を通じて、参加者が関心や知識を深める機会となった。継続的な実施に向けて、自主財源の確保や工房等の技術者の収益に繋がる事業内容を計画、実行していただきたい。
信州憑の里の小野御柱祭 おもてなし観光PR事業	両小野地区振興会(塩尻市)	塩尻市と辰野町にまたがる小野地区において開催される小野御柱祭の開催に合わせ、小野駅前等に観光案内所を設置するとともに、観光客も参加できる御柱としてPRするほか、観光客をターゲットとした参加型イベントとしてフォトコンテストを開催し、御柱を契機とした交流人口の増加を図る。 ①簡易トイレレンタル料、看板制作費 ②テント購入費	1,335,931	1,049,000	観光客参加型の御柱祭を成功させるため、観光案内所、案内看板、仮設トイレ等を整備した。また、フォトコンテストの開催により、小野御柱の魅力を発信することができた。目標としていた集客数が得られ、小野御柱祭の成功につながった。
奈良井宿のおもてなし商品開発事業	桜香会(塩尻市)	奈良井地区で栽培されているトウブキを活用し、漬物やお菓子として商品開発を行うことにより、飲食店やお土産屋、宿泊施設等が一体となって地場食材の消費拡大や増加する外国人観光客に食を通じた体験機会の提供を行う。 ①商品化支援委託料、チラシ・パッケージ印刷費	1,122,025	772,000	地域資源を活用した商品を開発、商品化した。メディアにも取り上げられ奈良井宿の新たなPRに繋がった。継続的な事業展開に期待したい。
ワインバス運行事業	一般社団法人塩尻市観光協会	市内のワイナリーを巡回するシャトルバスや、松本市及び安曇野市のワイナリーとを結ぶ広域周遊バスを運行させ、信州 destinations キャンペーンと連携した企画旅行として実施することにより、松本地域の観光産業の発展やワイン産業の発展を得る。 ①バス運航費、広告費	1,367,580	1,012,000	着地型の旅行プランとして、参加者の満足度も高いものがあつた。継続的な実施について期待したい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
信州山形村産長芋料理レシピ集製作及びやまっちそば普及事業	山形村観光協会(山形村)	村の特産品である長芋普及拡大を図るため、長芋の特色を活かした調理方法を研究しレシピ集を制作するとともに、長芋を使った「やまっちそば」を名物として発信していくため、リーフレットを制作し、県内や中央道SA等でのプロモーション活動を行う。 ①長芋レシピ集の作成等	2,905,607	2,285,000	そばの提供と一緒にリーフレットを配布したことによって消費者からの関心や問い合わせが多く寄せられ、飲食店への誘客効果も高まった。また、長芋の新たな調理方法の提案によって、消費拡大に繋がっているため、今後の展開に期待したい。
信州ワイントレイン運行事業	信州ワイントレイン実行委員会(塩尻市)	信州DCの特別企画として、北アルプスの山々を眺めながら地元産ワインを楽しむ「信州ワイントレイン」を運行させ、地域一体となって、地元産ワインのブランド化を目指す取組みを盛り上げる。 ①委託費等	5,961,837	2,523,000	長野県産ワインが注目を集める中、信州ワイントレインを運行することで、県産ワインファンの獲得につながった。継続的な運行に向けて財源の確保等について検討していただきたい。
松沢求策ライオンプロジェクト	松沢求策ライオンクラブ(安曇野市)	安曇野出身で自由民権運動の先駆けとなった「松沢求策」について、その存在や業績を更に多くの方に知ってもらうため、28年度に上演した戯曲「女たちの松沢求策」をDVD化し学校等に配付するほか、観光客に視聴させるなど、更なる観光振興や地域活性化に寄与する。 ①DVD制作費、パンフレット印刷費	505,010	378,000	戯曲の舞台内容を収めたDVDやパンフレットを作成したが、これらを有効活用して松沢求策の歴史的貢献内容を小中学生をはじめ若い人たちに伝えることができるよう努めていただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (2) 農業の振興と農山村づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
アグリフィットネスパーク事業	中山東花園から農村を元気にするプロジェクト(松本市)	松本市中山地区にある中山東花園において、地元の高齢農業者やボランティアらとともに、新たに若者やシニア層をターゲットにした農業体験プログラムを提供し、そのための環境整備を行うことにより、遊休農地の活用や農業を通じた地域の活性化を図る。 ①パンフレット制作費、農機具購入 ②工事費、体験用備品購入費	796,283	613,000	都市部の住民が農業体験できる場として定着しつつある。取組への協力者も増加しており、継続的な活動が期待できる。農地転用等必要な手続きについて市及び県の関係部署に確認の上、事業を進めていただきたい。
松本平発”魅力たっぷり農産物直売所マップ”	「おいしい信州ふーど(風土)」松本地域活動協議会(松本市)	松本管内の特徴的な農産物直売所の情報発信を進めるため、地域と農産物の特徴や地元食材メニューを紹介する直売所マップを作成し、各店舗と連携した地消地産キャンペーンを行う。 ①マップ作成費	1,490,940	1,192,000	地域の農産物直売所や農産物をまとめた冊子により、観光案内所や各種イベントでPRした結果、直売所利用者の増加や地消地産の推進が図られるなど、予定していた成果を得ることができた。
安曇野産ホップ生産と麦芽栽培による遊休荒廃農地活用事業	安曇野産ホップを生産する会(安曇野市)	安曇野地域においてホップを新たな地域資源とするため、ホップ生産の基盤整備(ホップ棚の整備)と、地ビール向けの二条大麦の生産拡大に向けた技術講習を行うことにより、ホップの地産化と遊休荒廃地の解消を目指す。 ①技術講師謝金、収穫祭開催経費 ②ホップ棚の整備等	537,195	406,000	二条大麦の収穫により麦芽加工まで工程を進めることができ、ホップも目標通りの収穫水準に達した。今後、さらなる遊休荒廃農地の利活用が期待される。会員の拡大と並行して、これまで構築できた関係者との連携を強化しながら、最終商品の開発に努めていただきたい。
おみごと農業研修推進事業	特定非営利活動法人おみごと(麻績村)	村の基幹産業である農業を持続可能なものとし、都市部から移住した若者が地域に定着するための環境づくりを進めるため、NPO法人と村が連携して遊休荒廃農地を活用した生産から販売まで一連の取組を行う農業研修を実施する。29年度は乾燥機を導入し新たに酒米の栽培を行う。 ①広告宣伝費、資材購入費 ②乾燥機購入	4,153,194	3,165,000	当初の予定を上回る遊休荒廃地の整備が農業研修生の手で実施された。販売研修事業を通じ、村のPR、担い手育成、農業振興につながった。今後は、農産物のブランド化を進め、より多くの研修生が村に定住できるよう活動を継続していただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
大日向地区 集落再熱事業	大日向ニンニク生産組合(生坂村)	高齢者でも負担が少なく、比較的栽培が容易なニンニクの栽培を更に進めるとともに、ニンニクを加工した黒ニンニクの加工、供給体制を整備することで、定住、就農者が一体となった住民協働による地区の活性化を進める。 ①ニンニク試験栽培 ②貯蔵施設整備、ビニールハウス設置	1,217,495	840,000	これまでに整備した施設やニンニクの試験栽培の技術を活かして、黒ニンニクが村の特産品になるよう今後も持続可能な運営を期待したい。
夢ステージに挑戦！農業女子応援事業	公益財団法人生坂村農業公社(生坂村)	近年単身女性の就農希望者が増加している中、女性の就農希望者を受け入れ、女性独自の視点で新しいスタイルの農業、地域での暮らしができるよう、農業体験ツアーの実施や女性農業者同士の交流会を開催し、女性が就農しやすい環境を作る。 ①研修用苗代、講師謝金 ②軽トラック、ビニールハウス	2,498,917	1,638,000	女性の新規就農者のためにビニールハウスの設置や軽トラックの購入などハード面の整備を行った。今回整備した設備等を活かし、新たな就農希望女子を受け入れ、定住女性農業者が増加することを期待したい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (3) 森林づくりと林業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
朝日村の森林資源を有効活用したクラフト家具の作成体験及びPR事業	朝日村	古民家を改修したゲストハウス整備に合わせ、村産カラマツを使った家具を製作するとともに、県内外のイベントへの出展や村営のクラフト体験館での木製家具作成の体験プログラムの提供を通じ、木工クラフトのブランド化や村産材消費量の向上、村の交流人口の拡大を図る。 ①家具運搬費、印刷費 ②クラフト家具製作	3,721,160	2,879,000	計画した効果は現れるれてきていると思料されるが、取組の内容が内向きとなっており、外向きに発信する工夫が必要と思われる。ブランド化に向けて更なる研鑽を期待する。
「第2回信州バザール」普及推進事業	一般社団法人 信州木造住宅協会(松本市)	地元工務店等が協力し、様々な業界団体や学校、行政関係機関と連携し、木造住宅の普及や県産材の利用促進、更には家づくり等に関する各種技能者の育成、啓発を行うイベント「信州バザール」を開催することで、業界や産業の垣根を越えて地域住民に地域の魅力を発信する。 ①信州バザール開催経費	6,739,467	3,064,000	入場者数は目標に達しなかったが、子供向けの内容も多く、家族連れが楽しめる工夫がされていた。イベントがさらに充実したものとなり、地域の木材産業・林業の振興につながることを期待する。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (5) その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
新卒I・Jターン定住化促進事業	松本市	就職期を控えた大学生を対象に、松本平での暮らしや働き方の魅力を実践者の話とともに紹介するセミナーを開催するとともに、企業見学を実施することで、松本平へのI・Jターンを誘引し新たな人の流れを創る。29年度は塩尻市、安曇野市との連携事業として実施する。 ①セミナー等開催委託、チラシ印刷費	541,527	313,000	近隣3市で連携して取り組んでいる点は評価できるが、参加者が当初の目標に対して半分以下と思うように集まらず、これでI・Jターンに結びつく成果が期待できるかが疑問である。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
紙のタイムマシン活用事業	塩尻市	塩尻市に研究拠点を置く企業が開発した、使用済みの紙から新しい紙を再生する室内古紙再生機を市役所市民ホール等に設置し、廃棄文書等の再利用などを推進するとともに、市内の事業者や団体等からの古紙持込みも行い、協働による古紙再生システムのモデルケースとして構築する。 ①古紙再生機(2台)使用料等	6,174,560	4,624,000	小中学生等の見学会や他の自治体からの視察を受け入れることで、省資源化や当市の地域イメージの発信ができた。また、古紙回収作業を委託することで障がい者の雇用創出にも寄与している。今後は市民、団体からの古紙についても対象に加えるなど、取り組みの範囲を一層広げていただきたい。
復活！生坂産「ころ柿」事業	生坂村	収穫されず放置される柿を商品化するため、村の授産施設において干し柿を生産していくための施設の整備と技術研修の実施により、村の干し柿の生産量増加による「ころ柿」ブランドの復活や就労機会の確保を図る。 ②乾燥施設整備費、皮むき機購入費	2,559,139	1,919,000	地域資源を活用するとともに、鳥獣被害の軽減にも貢献している。地域の特産として定着するよう引き続き、生産拡大に尽力いただきたい。
有機で創る元気な里づくり事業～スーパーばかしを使った野菜作り～	生坂村	よもぎ酵素を使った独自の有機肥料による野菜栽培を試験的に行い、平成30年に村内に設置が予定されている農産物直売所等で販売するための特色あるブランド野菜構築に取り組む。 ①有機肥料材料費、講師謝金 ②ビニールハウス設置費用	885,972	675,000	有機肥料及び有機肥料を使用した野菜のブランド化を目指し、公的な肥料登録やブランド基準の明確化等に取り組んでいただきたい。
ぼんどこファーム	ぼんどこファーム実行委員会(松本市)	旧いがやスキー場の施設を活用し、地域住民が主体となり、ヤギの乳製品の販売やふれあい牧場、足湯を活用した観光振興事業を展開する。29年度は、ヤギ放牧エリアの拡張やヤギミルクを活用した商品開発を行い、収入の確保に向け取り組む。 ①商品開発、カフェ内設備購入 ②ヤギ柵拡張工事、レジシステム導入	1,905,319	1,451,000	ヤギミルクを用いた商品をいくつか開発して商品化し、来客数も増加した。平成30年5月にリニューアルオープンしたいがやレクリエーションランドとともに、ぼんどこ、乗鞍高原エリアを盛り上げ、地域振興に寄与することが期待できる。
松本スイーツ開発・普及事業	松本スイーツ開発・普及事業実行委員会(松本市)	松本を代表するお土産となりうる「松本スイーツ」を開発し、商品化するため、オリジナルスイーツの開発を行うとともに、27・28年度に開催したコンテストの受賞作品の販売時等に使用できる統一デザインの紙袋をコンテスト形式により製作することで、ブランド育成を進め、地域活性化や観光誘客を図るとともに、「スイーツの街まつもと」を目指す。 ①チラシ・ポスター作製費、イベント運営委託料	5,092,317	3,206,000	前年比で16%の事業者増加やイベント・百貨店催事等における販売が好調なことに加え、メディアで報道される機会も増えたことにより認知度が上がってきた。今後もより一層の販路拡大に努めていただきたい。
信州松本味噌普及プロジェクト	松本食堂サミット(松本市)	松本地域の味噌を活用したイベントを開催することで、味噌文化の重要性を再認識してもらい、味噌の消費拡大と中心市街地の活性化にも寄与する。29年度は回遊性を高めるため、スタンプラリー型のイベント「まつもと味噌さんぽ」として実施し、オリジナルギフトの開発を行う。 ①パンフレット制作費、広告費	3,040,600	1,729,000	事業の継続に向けて、事業費を精査するとともに、参加店舗数の増加による事業収入の確保が必要と思われる。
チャーター便を活用した台湾経済交流・視察事業	松本商工会議所(松本市)	まつもと空港から台湾へのチャーター便を利用した経済団体らの訪問団を編成し、台湾関係団体との観光分野での交流に向けた意見交換や観光物産展等の開催に向けた視察及び市場調査を行うことにより、松本地域の商工振興及び観光振興を図る。 ①交流事業委託費	6,685,693	3,640,000	松本空港国際化への機運醸成に資する事業となった。空港を活用し、民間主導による台湾との経済・観光面での交流を継続していただきたい。
松本山雅F.C.との連携によるスポーツ振興プロジェクト	松本山雅フェスティバルin塩尻実行委員会(塩尻市)	松本山雅FCとの連携、協力の下、小学生対象のサッカー大会・練習会イベントを開催し、県外からも参加をしていただくことで、子ども達に多様な交流の機会を提供するとともに、宿泊や消費増等の効果により市内企業の活性化にも寄与する。29年度は松本歯科大学の「カムカム(噛む噛む)メニュー」を提供し、選手としての体づくりの啓発を行う。 ①サッカー大会、練習会の開催 ②テント購入費	2,133,945	1,538,000	子どもたちにとって県外のチームと交流できるスポーツイベントであり、地元の宿泊施設や飲食店の利用、ぶどう狩り等により経済波及効果、地域の魅力発信が期待できる。協賛企業の増加や参加チームの負担金等により活動を継続、拡大に努めていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
アウトドアで村おこし事業	生坂村観光協会(生坂村)	生坂村の自然環境を活かしたアウトドアの更なる普及を図るため、大城京ヶ倉でのトレッキングイベントの実施を行うとともに、29年度は新たに全国に先駆けて車いすパラグライダーができるように必要な設備整備を行うとともに車いすパラグライダーの体験動画を作成し発信する。 ①PR動画作成委託費 ②車いすパラグライダー、備品倉庫	5,699,376	3,905,000	納期の遅れにより体験回数が少なく残念であった。全国的に珍しい車いすパラグライダーを新たな障がい者スポーツとして定着するよう各関係団体への普及に努めていただきたい。
”コンパクトヴィレッジ山形村”地域の賑わい創出のための産業振興事業	山形村商工会(山形村)	山形村の商工業者の商品や製品、農産物を含む特産品を広く村内外に宣伝・紹介し、販路開拓を図るため、「山形じゃんずら」や「道祖神と新そば祭り」に合わせ「山形村産業フェア」を開催し、地域の賑わいを創出する。 ①パンフレット印刷費、機器レンタル料 ②テント、エアアーチ	1,904,393	1,460,000	備品の整備によって出展企業増加の対応が可能になったほか、予想を上回る集客にも繋がっている。また、出展者の満足度が非常に高いことから、今後の継続開催及び規模拡大にも期待したい。
女性のための起業副業お仕事マルシェ信州	日本一女性が起業しやすいまちづくり信州実行委員会(松本市)	地元の女性が「起業」という働き方に気軽に興味、関心を持てるようなブースや既に起業している女性の相談・情報提供窓口を設けたイベントを開催し、女性の起業を応援する。 ①広告掲載、チラシ作成費等	1,343,060	1,063,000	来場者数は目標値に届かなかったものの、来場者のみならず出展者同士の交流も盛んに行われ、今後の事業運営に期待できるイベントとなった。今後は参加者のうち、実際に起業した人数を可能な範囲で集計し、起業後の状況についても参加者へ紹介していただきたい。
かあちゃんたちの「生坂ブランド」グレードアップ大作戦事業	公益財団法人 生坂村農業公社(生坂村)	平成30年にオープンする農産物加工直売施設への出店を控え、若い部員が活動の中心となり、パッケージへの関心も高まっていることから、若い部員の意見、提案を取り入れたパッケージのリニューアルを行う。 ①パッケージ製作、パンフレット作成等	2,280,000	1,710,000	商品イメージの統一が図られ、地元農産物加工品のブランド力向上に資する事業となった。村の道の駅においても目玉商品となるよう期待したい。

7 その他地域の元気を生み出す地域づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本ユース平和ネットワーク事業	松本市	高校・大学生が平和について考え、学習し、発信する機会を設け、松本から平和を発信できる人材の育成を図るため、若者による長崎市への平和訪問と、その成果を発表する出前授業の実施、核兵器廃絶の現状や若者の意見を掲載した平和ハンドブックの発行を行う。 ①平和訪問旅費、ハンドブック印刷費	559,448	374,000	若者が戦争や平和について考える機会を与えることに寄与している。これを機会として若者の自発的な活動につながるよう期待する。
地域づくりインターンシップ戦略事業	松本市	若者参加による地域の活性化と若者の地域への定着を目的として、松本大学と連携し、地元志向を持った若者を、地域住民とともに取り組む地域づくりの実践活動と、地域づくりのための講座を通して地域づくりを担う人材としての育成と、地元での就職、起業を支援していく。 ①インターンシップ業務委託費	31,773,600	604,000	目標としていた就職、起業に至る若者を11人確保することが出来た。松本大学地域総合センター特別研究員としての活動期間が終わった後も、地域に残り活動が出来よう、地区間の連携を含めさらに発展させていきたい。
オーダー！生坂ならではのメニュー事業	生坂村	生坂村の地場産品を使った名物料理をつくるため、料理コンテストを開催し、特集番組を放送することにより、村の知名度や認知度を高めるとともに、グランプリ作品を村営やまなみ荘等の村内施設で提供することにより観光客数を増加させる。 ①番組制作料、審査員謝礼	3,940,112	2,895,000	コンテストの募集を広範囲に行うことで、村内外から多数の応募があり、村の特産品を使った料理を選定することができた。今後、優秀作品等を効果的にPRし、村の名物料理として定着させる取組を進めていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
美しい森林資源を活かした交流体験プログラム創生事業	朝日村	村の森林を活用して、森林浴や森林ヨガ、ピザ作り等を行う体験プログラムを実施し、交流人口の増加や村のPRに寄与する。参加希望者も増えていることから、29年度は受入れ人数を増やすとともに、雨天時でも活動ができるようテントを整備する。 ①セラピーツアーの開催 ②遊歩道改修、テント購入費	2,135,869	1,628,000	予定された事業はすべて実施され、参加者数も増加している。実施体制も整備され、継続的な事業実施が可能となっている。
朝日村プロモーション事業	朝日村	村の魅力を伝えるプロモーション動画を作成し、動画サイトや首都圏主要駅での映像配信を行うことにより、村の認知度を高め、交流人口及び転入者の流れを創出する。 ①動画作成委託料、動画配信料	2,908,137	2,326,000	作成したプロモーション動画を動画広告として配信したところ、平均よりも高い視聴率であった。今後も作成した動画を有効活用して村の魅力を発信していただきたい。
スポーツを通じて四賀地区の活性化を図る事業	四賀元気プロジェクト(松本市)	虚空蔵山米かつぎマラソンを四賀地区の商工業者やIターン者が主宰する団体等と連携して開催し、四賀地区の住民と交流を図ることにより、四賀地区の活性化を図る。29年度は四賀地区や松本市街地での広報を積極的に行い、地元からの参加者を増加させ、地域に根差すイベントとして定着させる。 ①イベント開催経費、広告費	796,049	316,000	県内の他のイベントと日程が重なった影響もあり、当初の予定より参加者数は下回ってしまったが、大会自体は3回目を迎え徐々に認知されてきている。参加者からも好評である点は評価できる。
松本地域の異業種連携事業「ゆかたキャンペーン」	長野県美容業生活衛生同業組合中信支部(松本市)	商店街連盟や山雅FCと連携し松本市街地で「ゆかたキャンペーン」を開催し、地域の伝統行事の伝承やにぎわいの創出を行う。オープニングイベントとして行うゆかたファッションショーでは広報や企画に地元の高校生の協力を得て実施する。 ①会場設営費、チラシ印刷	1,786,540	1,344,000	地域の様々な企業や高校、団体等を巻き込みキャンペーンを実施することができた。今後は、観光誘客につながるよう観光関係者と連携した取組を期待したい。
塚原誕生200年と地域づくり振興事業	塚原誕生200年地域づくり振興会(安曇野市)	拾ヶ堰開削を契機に成立し誕生200年を迎える安曇野市塚原区において、記念誌を発行し地域の歴史文化への理解を深めるとともに、国営公園における軽トラ市の開催や農林業体験交流イベント等を開催し、地域の一体感を醸成し伝統文化の次世代への継承を図る。 ①記念誌印刷費、チラシ印刷費	1,350,000	1,080,000	塚原誕生200年記念誌を発行事業や各種イベントを通じて、区民の地元への関心が高まり、交流の絆も深まった。200年の記念式典に向けて準備に万全を期していただきたい。
おみ光のページェント	麻績村観光協会(麻績村)	地域住民の協働により、シェーンガルテンおみの庭園に昨年よりも多くのイルミネーションを装飾するとともに、冬場の点灯期間に合わせて、星空観賞会を開催することにより、観光客数の減少する冬場の集客を図る。 ①星空観賞会、フォトコンテスト ②イルミネーション関連機器購入	2,195,968	1,470,000	開催場所であるシェーンガルデンおみの来場者は昨年より減少したものの、継続的な事業実施により村内外への周知が徐々に進んでいる。冬期間の観光コンテンツとしてイベントの継続的な周知を行い、来場者の増加を収益に繋げる取組に期待したい。